



高円宮妃久子殿下をお迎えし
創立135周年記念特別展が開幕

本学創立135周年と国学院大学
院友会発足130周年記念の特別展
「高円宮家所蔵 根付コレクション」
が、渋谷キャンパスの本学博物
館で始まった。開幕前日の5月27
日、博物館のミュージアムホールで
高円宮妃久子殿下によるテープカッ
トや学術メディアセンター1階の常
磐松ホールで特別講演会「手のひら
の小宇宙」が行われた**【2面詳報】**。
根付とは、印籠や巾着などを帯か
ら吊るす時に用いる滑り止めの道
具。今回特別展に展示された約28
0点の根付は高円宮憲仁親王殿下と
同妃殿下が収集されたものだ。象牙
や木材などで作られたかわいらしい
ものやユーモアにあふれた作品もあ
り、日用品としてだけでなく芸術品
としても親しまれている。
テープカットでは、赤井益久学長
による歓迎のあいさつの後、妃殿下
が「日本の文化を凝縮した形で物語
っている一つの装身具であり、日本
の持つ伝統工芸の技術を全部網羅し
ているといっても過言ではない」と
根付について述べられた。妃殿下は
その後、関係者らに根付コレクション
の解説や入手した際のエピソード
などを説明しながら館内を回られ
た。特別講演会の後、有栖川宮記念
ホールで妃殿下をお迎えしたオープ
ニングパーティーも催された。
イベントには坂口吉一理事長、院
友会の吉田茂穂会長をはじめ全国各
地の院友会支部長ら約150人が出
席。院友学術振興会会長・院友会理
事の菅野雅雄さん（昭32卒・69期文
Ⅱ、昭35修・68期修日文、昭38修・
71期博日文）は「根付は現代とい
うストラップ。皆さんに親しみのある
もののなので気軽に見に来てほしい」
と話していた。特別展は7月23日
（日）まで。

6人の足跡が示す
黎明期の「国学院」



本学の黎明期を支えた6人。有栖川宮幟仁親王を中心に右上から時計回りに山田顕義、佐佐木高行、松野勇雄、久我建通、井上毅

国学院大学は今年、母体である皇典講
究所が明治15（1882）年に設立され
てから135年を迎える。幕末から続い
た一大変革の中で本学の礎はどのよう
に築かれたのか？ 「明治維新150年」
を迎える平成30年を前に、「国の基を究
むる」べく歩み続けてきた本学の黎明期
を、当時を支えた6人の人物の足跡をた
どりながら検証する。

渋谷キャンパスの本学博物館校史展示
室では、本学創立135周年記念展示
「有栖川宮家旧蔵資料と国学院大学の歴
史」が7月23日（日）まで開かれてい
る。皇典講究所創立から135年にわた
って刻まれた本学の足跡を、貴重な資料
を基に振り返る好機でもある。

【6、7面詳報】

みはるかすもの

梅雨の季節、タチアオイの花が凛と太
陽に背を伸ばし、雨にぬれた木々の緑は
濃くなる。アスファルトとコンクリート
に囲まれた渋谷では、暑さ寒さのほか
は、季節の移ろいにどうも疎くなってし
まう▼遅れて新緑の季節を迎えた東北地
方では、山菜やタケノコを採りに山に入
った人がクマに襲われる被害が今年も多
発している。中には、「クマよけ」用の
鈴を身につけていた女性が襲われ、亡く
なるケースも▼報道によれば、クマが人
工音に慣れた結果、ラジオや車のエンジ
ン音に近づくケースもあるという。過疎
化によって里山が失われ、クマとの緩衝

地帯がなくなっているとも指摘される▼
ブナの新芽が萌え出すころ、堅雪が残る
山に人々が分け入ってクマを撃つ。こ
うした雪国の習俗を、近畿大学名誉教授で
文化功労者の院友・野本寛一先生の著書
『季節の民俗誌』は伝える▼地域によ
って差異はあるが、集団狩猟をする集落ご
とに独自のしきたりがある。ブナの新芽が
膨らむ春の土用に狩りに出る。撃ったク
マを山の神に供える。肉や骨を残さず分
ける。自然とともに生きる共同体が築い
てきた「掟」なのだ▼そうした習俗を伝
える集落から都会へ人が離れている。ク
マにとっては、狩りで使われてきた火薬
や鉄のにおいに危険を感じることが少な
くなったのだろうか。自然とともに生き
る暮らし方を忘れた我々の営みの影響
が、ここでも顕在化しているといえよう。



「根付は日本の文化を象徴」
高円宮妃久子殿下がご講演

手のひらに乗る極小サイズながら宇宙まで広がるテーマを持つ根付。高円宮憲仁親王殿下は「根付は日本の文化を象徴するもの。歴史の変遷が見られるようなコレクションにすべきである」と考えられていたという。殿下が好まれた根付の「捻り」について「あつと思うところ、しゃれやユーモア、思いがけない隠し味」と妃殿下は説明された。

殿下が好まれた根付について妃殿下は「宮さまが古今東西で最も哲学的だと称されていた」という杜甫の春望「国破れて山河あり」を表現した作品を挙げられた。その根付が会場のスクリーンに映され、妃殿下が画像



十二神将 午・辰・寅・午・巳(阿部賢次、象牙、1984/6.8cm、1988/6.9cm、1986/6.8cm、1991/7.0cm、1986/6.7cm)



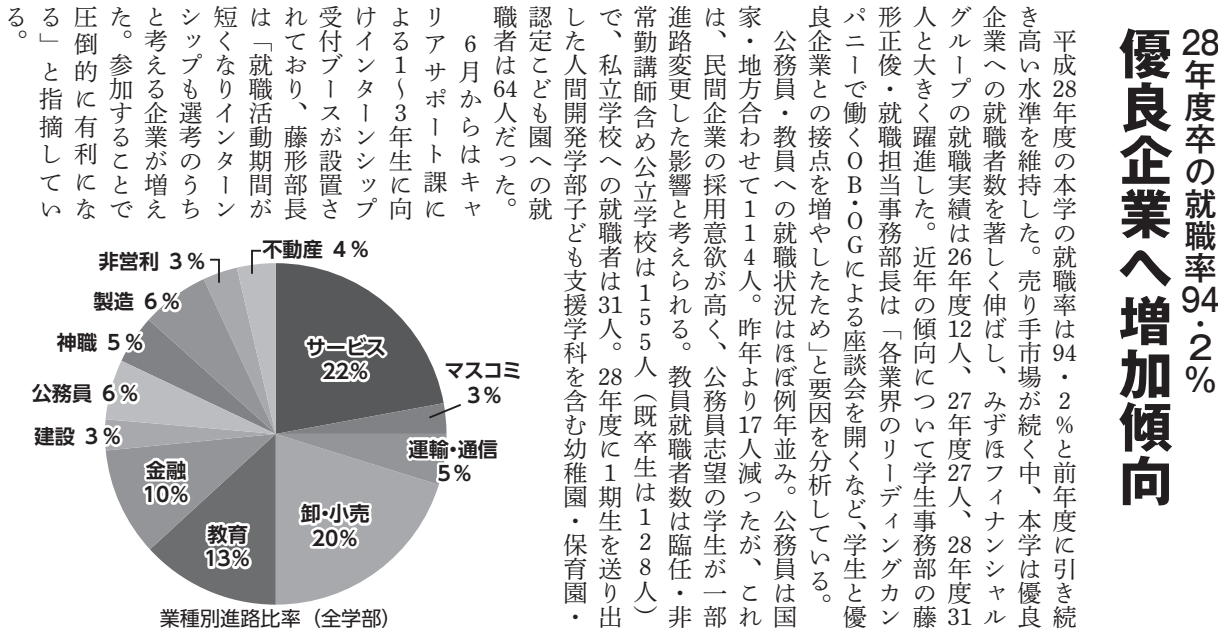
待宵草 (太田弥光、象牙、1998/5.7cm)



サルカニ合戦 (小林仙歩、象牙、龍甲、1987/4.4cm)

を指しながら「小さな橋がある」と説明されると、会場からどよめきが起きた。妃殿下は根付に表現されている桜について「宮さまと何回もお話した思い出深い作品」と回想された。「(根付は) 幅広く日本の伝統的な技法や意匠を網羅していますので、その背景を理解しよ

うとした海外の方に興味を持っていただくためのきっかけとなる」と述べられる妃殿下。根付のコレクションを通しての文化交流という「宮さまが始めた仕事を続けるのが私の責務だと考えております」と締めくくられた。



3氏に名誉教授授与



本学は、平成29年3月に退職した元文学部教授の上山和雄氏、元経済学部教授の菅井益郎氏、元法学部教授の長谷川光一氏の3氏に、平成29年4月1日付で名誉教授の称号を贈ることとした。

授与式は、渋谷キャンパス若木タワー内の学長室で、6月7日に行われた。

上山氏は日本近現代史、菅井氏は近代日本経済史、長谷川氏は民法、比較法がそれぞれ専門。

客員教授に久保田氏



6月1日付で、産経新聞社編集局編集委員の久保田るり子氏が本学客員教授に就任することとなり、7日午後1時から委嘱状の交付式が行われた。

久保田氏は、昭和50年成蹊大学経済学部卒業、平成7年防衛省防衛研究所一般課程修了。昭和50年に産経新聞入社後、韓国ソウル支局特派員などを経て現職。国際情勢をカバーするほか、フジテレビの報道番組「みんなのニュース」にレギュラーコメンテーターとして出演している。

交付式では、赤井益久学長から久保田氏に委嘱状が手渡された。

高校教員対象説明会 30年度の入試概要を解説

5月26日午後3時から、渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで高校の教員を対象とした入試説明会が行われ、206校から教員が参加した。

尾近裕幸入学担当理事・経済学部教授は、この4月に制定された学校法人国学院大学の中長期計画「21世紀研究教育計画(第4次)」に言及し、「本学の入試偏差値や制度や校風に加えて、大学の目指す将来像も含めてご理解いただければ」とあいさつした。

続いて針谷壮一入学試験委員長・文学部教授と入学課職員から平成29年度入試結果と30年度入試制度についての説明、就職担当の職員から学生に配布している資料を基に、本学の就職支援体制について紹介があった。



教職員人事

退職
◆自己都合◎大学事務局◇嘱託▽木崎優(学生事務部学生生活課学生相談室)
平成29年4月30日付

海外大学3大学と一般協定締結

国学院大学は、海外の大学3校と一般協定を締結した。各校には、今夏から学生を派遣予定だ。協定期間はいずれも5年間。協定内容は下記のとおり。

- ▽中国・復旦大学国際文化交流学院
- 目 的：同大中国語プログラムへのセメスター留学学生派遣
- 締結月：平成28年12月
- ▽ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学
- 目 的：同大英語プログラムへのセメスター留学学生派遣
- 締結月：平成29年3月
- ▽アイルランド・ダブリンシティ大学ランゲージサービス
- 目 的：同大英語プログラムへの夏期短期留学学生派遣
- 締結月：平成29年6月

成績優秀者奨学生が決定56人を表彰

国学院大学は、平成29年度の成績優秀者奨学生56人を発表した。同制度は、前年度特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励することを目的とする制度で、学部学生2年生以上を対象としている。

表彰式は、文学部・経済学部・法学部・神道文化学部が6月8日午後5時から渋谷キャンパス会議室02で行われ、赤井益久学長は「学問を修めるだけでなく人間を磨くことにも励んでいかないといけない」とあいさつした。その後各学部長から表彰状が授与された。奨学生を代表し、湯浅恵君（経4）は「大学での学びを活かして社会で役立つ人間になりたい」とさらなる飛躍を誓った。

人間開発学部は14日（水）にたまプラーザキャンパスで行われる。



渋谷区民大学講座ルーヴル美術館の美を語る

6月3日午前10時30分から渋谷キャンパス学術メディアセンター常磐松ホールで、平成29年度国学院大学渋谷区民大学講座が行われた。「ルーヴル美術館―永遠の美と新たな魅力―」と題して、小池寿子文学部教授が講演。約70人の参加者が耳を傾けた。

小池教授はNHKと仏・ルーヴル美術館が共同制作し、昨年9月に完成した8Kハイビジョン撮影による番組「ルーヴル美術館 永遠の美」に学術協力で携わり、9点の彫刻・絵画を選出している。1435年頃にヤン・ファン・エイクによって描かれた「宰相ニコラ・ロランの聖母」では、肉眼では見られないほど小さく描かれた町並みや市街地に咲く花も、ハイビジョン撮影によって見ることができるようになっていると解説を加えた。



資金収支計算書				平成28年4月1日から平成29年3月31日まで				(単位：百万円)			
収入の部				支出の部							
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異				
学生生徒等納付金収入	14,034	14,009	25	人件費支出	9,649	9,602	47				
手数料収入	619	749	△130	教育研究経費支出	3,831	3,564	267				
寄付金収入	470	474	△4	管理経費支出	1,161	1,088	74				
補助金収入	2,164	2,150	14	借入金等利息支出	32	28	4				
資産売却収入	51	51	0	借入金等返済支出	850	850	0				
付随事業・収益事業収入	196	176	19	施設関係支出	748	504	244				
受取利息・配当金収入	195	214	△19	設備関係支出	361	412	△51				
雑収入	442	476	△34	資産運用支出	4,461	4,477	△16				
借入金等収入	627	626	1	その他の支出	261	431	△170				
前受金収入	2,991	3,102	△110	予備費	529		529				
その他の収入	1,472	1,463	9	資金支出調整勘定	△203	△337	134				
資金収入調整勘定	△3,436	△3,595	159	当年度支出合計	21,681	20,619	1,062				
当年度収入合計	19,825	19,895	△70	翌年度繰越支払資金	10,873	12,005	△1,132				
前年度繰越支払資金	12,729	12,729									
収入の部合計	32,554	32,624	△70	支出の部合計	32,554	32,624	△70				

事業活動収支計算書					平成28年4月1日から平成29年3月31日まで					(単位：百万円)				
教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異	特別収支	科目	予算	決算	差異				
		学生生徒等納付金	14,034	14,009	25		事業活動収入の部	資産売却差額	0	1	△1			
		手数料	619	749	△130		その他の特別収入	337	323	14				
		寄付金	170	160	10		特別収入計	337	324	13				
		経常費等補助金	2,141	2,147	△6		事業活動支出の部	資産処分差額	72	58	14			
		付随事業収入	196	176	20		その他の特別支出	0	0	0				
		雑収入	442	495	△53		特別支出計	72	58	14				
		教育活動収入計	17,602	17,736	△134		特別収支差額	265	266	△1				
	事業活動支出の部	人件費	9,712	9,674	38	[予備費]	529		529					
		教育研究経費	5,438	5,184	254	基本金組入前当年度収支差額	1,045	2,113	△1,068					
		管理経費	1,306	1,233	73	基本金組入額合計	△3,605	△3,411	△194					
		教育活動支出計	16,456	16,091	365	当年度収支差額	△2,560	△1,298	△1,261					
	教育活動収支差額			1,146	1,645	△499	前年度繰越収支差額		1,000	1,000	0			
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	195	229	△34	基本金取崩額	0	0	0				
			その他の教育活動外収入	0	0	0		翌年度繰越収支差額	△1,559	△298	△1,261			
教育活動外収入計			195	229	△34									
事業活動支出の部		借入金等利息	32	28	4									
		その他の教育活動外支出	0	0	0									
		教育活動外支出計	32	28	4	(参考)								
教育活動外収支差額			163	201	△38	事業活動収入計		18,135	18,290	△155				
経常収支差額			1,309	1,846	△537	事業活動支出計		16,560	16,177	383				

貸借対照表				平成29年3月31日				(単位：百万円)			
資産の部				負債及び純資産の部							
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減				
固定資産	109,883	107,249	2,634	負債総額	13,921	14,166	△245				
有形固定資産	62,287	63,187	△900	基本金総額	108,733	105,322	3,411				
特定資産	44,740	41,164	3,576	第1号基本金	94,674	94,063	611				
その他の固定資産	2,856	2,897	△41	第2号基本金	2,300	1,500	800				
流動資産	12,473	13,239	△766	第3号基本金	10,708	8,708	2,000				
				第4号基本金	1,051	1,051	0				
				繰越収支差額	△298	1,000	△1,298				
				純資産の部合計	108,435	106,322	2,113				
資産の部合計	122,356	120,488	1,868	負債及び純資産の部合計	122,356	120,488	1,868				



国学院大学学術メディアセンターにお目見えしたユニークな読書スペース「みちのき」制作で中心となったスベシヤリストらによるトークショー「ほんのひとコマ」が5月19日、同センター1階のエントランスホールで催された。登壇者はプロジェクトをけん引した石井研士本学副学長・神道文化学部教授、ブックディレクターの幅允孝さん、建築家の谷尻誠さん、グラフィックデザイナーの木住野彰悟さんの4人で、みちのきに込めた思いなどを熱く話した。

国学院大学学術メディアセンターにお目見えしたユニークな読書スペース「みちのき」制作で中心となったスベシヤリストらによるトークショー「ほんのひとコマ」が5月19日、同センター1階のエントランスホールで催された。登壇者はプロジェクトをけん引した石井研士本学副学長・神道文化学部教授、ブックディレクターの幅允孝さん、建築家の谷尻誠さん、グラフィックデザイナーの木住野彰悟さんの4人で、みちのきに込めた思いなどを熱く話した。

「本に囲まれ豊かな時間を」石井副学長、思いを語る

「みちのきち」オープニング・トークショー

語った。当日は60人を超える観客が集まり、立ち見も出るほどの盛況だった。

みちのきちは4月から学術メディアセンターの1階、エレータターの奥にオープンした読書空間。幅さんの選書による良質な活字本はもとより、マンガや写真集なども含め興味を引かれるラインナップ約800冊が並ぶ。

トークショーでは石井副学長が「頭の柔らかい時期に本に囲まれた豊かな時間を送っていたきたい」との思いや、同様のスペースを学内に複数作る予定であることなどを語った。選書を担当した幅さんは「1冊の本が学生の皆さんの心にうまく刺さるように差し出し方を心掛けた」と話した。

平成28年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月30日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承された。

本決算は24年度からの5カ年計画である「21世紀研究教育計画（第3次）」の最終年度としての決算であり、さまざまな厳しい外部要因がある中、中期計画にのっとり事業を遂行した上で、おおむね堅調な結果となった。

財政面においては、重要度などの優先順位を決め各事業が円滑に遂行できるよう財源配分を行うとともに、持続可能となるよう基本金をはじめとする財務基盤の強化を図った。

また、貸借対照表における資産規模でも、総資産が1220億円を超え、各事業を支える財務基盤は着実に整えられている。

今後、財務基盤の健全性を図り、新たな中期計画である「21世紀研究教育計画（第4次）」ならびに各年度の事業計画が着実に遂行できるよう財務運営を行っていく。

なお、詳細はホームページを参照。（財務部経理課）



新潟コメ作りワークショップ、2年目

地元につながる伝統的な農作業着「ヤマギモ」を着て作業する学生



本学と特別招聘教授の
彬子女王殿下が総裁を務める一般社団法人心游舎との共催による「新潟コメ作りワークショップ」田植え体験が5月14日に新潟市内の農園で行われた。今年で2回目となる同ワークショップには、彬子女王殿下も参加された。このワークショップは、農業に頼らない自然栽培でコメ作りを行うことの大変さや、食べ物への感謝を学生に知ってほしいとの殿下の意向を受けて企画された。当日は学生22人が参加。前日午後には渋谷キャンパスを出発し、バスで現地向かった。夕刻、新潟市中央区の宿舎に到着すると、勉強会を実施。新潟のコメ作りの歴史などについて、同地で自然栽培を実践する自然栽培新潟研究会会員から説明を受けた。

田植えは、同市北区内の田んぼで行われ、学生や地元住民によって2時間ほどをかけてコシヒカリの苗が植えられた。

今後、同ワークショップでは6月、8月に草取り、9月に稲刈りを行う予定だ。（写真・増山正芳君〈神文3〉提供）

日本文化を知る講座がスタート 研究開発推進機構開設10周年を記念

6月3日午後1時30分から、渋谷キャンパス常磐松ホールで、「日本文化を知る講座」が始まった。同講座は4週にわたる連続講座。1回目は「古典からみる日本文化」がテーマとなった。

研究開発推進機構は、平成19年に発足し、今年で10周年の節目を迎える。司会を務めた宮本晋士研究開発推進機構准教授から、その記念として、「日本文化に関する研究成果を発表する」と講座の趣旨説明があった。

最初の講演は、渡邊卓・研究開発推進機構助教の「皇典講究所・国学院と『古事記』」。本学が文部科学省の平成28年度私立大学研究ブランディング事業に採択され、古事記学センターが設けられたことをはじめとする本学での古事記学研究について解説した。

続く針本正行



副学長・文学部教授II写真IIの「物語絵巻・絵草紙を読む」と題する講演では、本学所蔵の住吉物語絵巻を取り上げ、物語文学が絵画と出合うことでどのような文化を創造したのか解説した。

同講座の2回目以降は6月の毎週土曜日に同時刻・場所です、異なるテーマで開講される予定だ。

彬子女王殿下、学生と田植えを体験

文学部講演会

日本における難民の現状



6月6日午後0時50分から、渋谷キャンパス学術メディアセンター1階の常磐松ホールで、文学部講演会が開かれ、認定NPO法人難民支援協会（JAR）広報部の伏見和子氏が「日本における難民問題の現状と課題」と題する講演を行った。

日本は難民条約加盟国の中でも難民認定が厳しく、平成27年は7586人の申請者数のうち27人のみの認定となっており、申請後も結果の通知まで約3年間かかり、その間の就労が困難でホームレスに陥る難民もいるという。伏見氏は難民を取り巻く厳しい現状やJARが行っている支援内容を紹介した上で、「まずは難民が日本にいることを知ってほしい」と語った。

法学会講演会

看護師が受刑者の姿を語る



5月30日午後0時50分から渋谷キャンパス常磐松ホールで、今年度1回目の法学会講演会が行われ、新潟刑務所の看護師・松山健二氏が「塙の中からみた社会・人間～刑務所看護師の語り～」と題して講演を行った。

松山氏は実際の受刑者には生活保護などの支援制度から零れ落ち、生きるために犯罪に加担してしまう高齢者も多いと紹介。そうした受刑者に対しどのような看護を心がけているのか、ナイチンゲールの「看護の覚え書」「救貧の覚え書」に言及しつつ解説した。

生きがい講座

大人と一緒にむかし遊びにチャレンジ

健康・運動に関する講座を地域の方にむけ実施している人間開発学部地域ヘルスプロモーションセンターでは、「生きがい講座2017」（神奈川県教育委員会後援）を開講している。

5月20日には、今年度1回目となる「むかし遊びをやろう！」がたまプラーザキャンパス剣道場やグラウンドで行われ、地域の児童とその保護者が参加した。植原吉朗センター長・人間開発学部教授と学生が指導し、コマ回しや竹馬やなど懐かしいむかし遊びにチャレンジした。

TOEIC講座

常磐木寮生ら 新テストに向けて対策

TOEIC Listening & Readingテストの出題形式の一部変更に伴い、本学でも実施しているIPテスト（団体特別受験制度）にも新形式問題が導入される。たまプラーザキャンパスで5月からLLC TOEIC講座が開かれている。実践問題を多く解き、松岡弥生子教育開発推進機構准教授の解説を受けて進められる。

受講生の中には、語学力の習得を含めたグローバル人材の育成を掲げる本学女子寮「学寮 常磐木」に入居する女子学生も出席。寮生たちは同講座終了後に、寮内で自主勉強会を行っており、講座の復習と自習課題に取り組み、試験対策を進める。



全国院友高等学校長会 学生支援の方針を決定



5月24日午後6時から渋谷キャンパス会議室02で全国院友高等学校長会総会が行われ、院友の高等学校長が集まった。五十嵐一郎高等学校長会会長(昭46卒・79期文)のあいさつで始まった総会は、教職を希望する学生への全面支援を行うことが決定したほか、就職状況や入学試験状況の報告があった。総会終了後、教職希望在学生との懇談会が開かれ、在学生らは情報交換を積極的に行っていた。その後、若木タワー18階有栖川宮記念ホールで懇親会が行われた。在学生も加わり院友高等学校長たちと和やかな時間を過ごした。

春の褒章 院友・小林氏も受章

4月29日付で内閣府から発令された春の褒章で、院友の受章が新たに判明した。(6月10日現在、敬称略)
◇**旭日小綬章(警察管理運営功労)**▷小林一成(昭40卒・73期文、昭41修・74期神専攻、昭45修・78期修神、元栃木県公安委員会委員長)

若木育成会「支部の集い」 全国各支部で順次開催

若木育成会では、例年5月下旬から8月にかけての土・日・祝日に全国各支部で「支部の集い」を順次開催している。大学の現況や教務・就職・学生生活関係についての説明、成績や就職などに関する個別相談にも応じている。
今年度も各地で開催が始まっている。6月4日には渋谷キャンパス120周年記念2号館で埼玉県支部の集いが開催され、約200人の保護者らが参加した。冒頭に支部長と大久保桂子本学副学長・文学部教授があいさつ。大学の近況などを伝えたほか、支部役員の選出や今年度活動案の報告が行われた。続いて担当職員から教務・就職・学生関係についての説明や個別相談の場が設けられた。

落語研究会60周年記念落語会



落語研究会は、6月10日午後1時30分から、渋谷キャンパス百周年記念館記念講堂で、創立60周年を記念した落語会を開いた。同会OBでプロの世界で活躍する入船亭扇辰さん(本名・川越辰朗[文学部出身])＝**写真**＝をはじめ、昨年度社会人落語日本一に輝いた万年堂きさ馬こと豊田雄二さん(平4卒・100期文)など8人が高座に上がり、会場を盛り上げた。記念の口上では、現幹部を含む歴代の幹部6人が、60年の歩みをユーモアたっぷりに語り、笑いを誘った。



本部総会であいさつに立った赤井益久学長

若木チャレンジ賞は部会、同好会、サークル活動などでベストを尽くし、立派な成績や結果をあげたり、地道な活動ながらも在学生に誇れる「国学院魂」を示したりした団体や個人、あるいは、ボランティア活動など社会に誇れる活動をし、本学の名を高めた団体や個人を表彰するもの。受賞者は以下のとおり。
《個人の部》(学年は応募当時・敬称略)◆間瀬稔也(健体3)▽準硬式野球を通じたインドネシアの野球発展に貢献(東都準硬式選抜として)◆山本亜紀(法4)▽山形県朝

日町での協力隊活動《団体の部》◆内定者アドバイザ1▽優良企業への内定を獲得した4年生が、後輩の就活を支援
◆渋谷学生ネットワーク▽東京オリピック・パリオリンピック日本文化体験ボランティア(2020年に向けての挑戦)◆教材研究サークルたんぽぽ▽子供たちの鑑となる保育者になるために



院友会長賞を受賞した藤阪君

若木育成会 本部総会を開催

新会長に加藤氏

在学生の保護者などで組織される国学院大学若木育成会の第38回国支部長懇談会と第47回本部総会が、5月20日に渋谷キャンパスで開催された。
全国支部長懇談会は、午後1時から若木タワー会議室02で開かれた。三竹俊彦若木育成会会長、白川博一大学事務局長のあいさつに続き、支

部活動に関わる連絡事項や各支部の活動事例が紹介され、積極的な意見交換が行われた。
本部総会は、午後3時から学術メディアセンター常磐松ホールで前年度事業報告および決算報告のほか、今年度事業計画についての審議を行った。会長を含む役員選出では、新たに加藤圭子副会長が新会長に選出

された。退任した三竹前会長を含む本部役員2氏と3年連続で支部長を務めた3氏には、長年の活動への尽力をたたえる感謝状がそれぞれ贈呈された。
午後6時からは、場所をグランドプリンスホテル高輪プリンスルーム

に移して、若木育成会本部総会懇親会が開催された。
加藤新会長・赤井益久学長のあいさつ、来賓の祝辞に引き続き、若木チャレンジ賞(別項参照)の表彰や強化3部会の活動報告も行われた。

院友会 支部長会議を開催

「節目の年」活動盛んに

平成29年度院友会支部長会議が、5月27日午後1時から渋谷キャンパス会議室02で行われ、全国各地の院友会支部から支部長らが出席した。佐藤美穂院友会副会長(昭41卒・74期文)の開会宣言の後、吉田茂穂同会長(昭40卒・73期政経、昭41修・74期神専攻)Ⅱ写真Ⅱからは「今年は院友会発足130年を迎える節目の年。実の上がる支部長会議になることを期待したい」とあいさつがあった。

博物館で開催を翌日に控えた特別展「高円宮家所蔵根付コレクション」のオープニング関連イベントに参加。セレモニーや関連講演会、オープニングパーティーを通じて、親睦を深めていた。

会議では大学からの報告として入試や就職状況の説明が行われたほか、院友会長賞学生の部に選ばれた柔道部の藤阪泰恒君(健体3)の表彰などがあった。

会議後、支部長ら出席者は、国学院大学

明治天皇の 信を得て舵取り

皇典講究所初代総裁 有栖川宮熾仁親王

皇典講究所の初代総裁として神道・国学の隆盛に尽くされた有栖川宮熾仁親王は、世襲親王家に生まれた。家学である書道を究めて「有栖川流」を大成し、明治天皇の御手習（書道）師範も務めた文人として知られるが、その生涯は波乱に富んだものだった。

熾仁親王の第一王子・熾仁親王妃には孝明天皇の妹宮である和宮親子内親王が決まっていたが、朝廷と幕府との融和を狙った「公武合体」の動きによって將軍・徳川家茂に嫁ぐことに。この「和宮降嫁」は、広く知られている。

元治元（1864）年、熾仁親王は国事御用掛の要職に就いたが、禁

門の変で親長州派として活動した熾仁親王ともども謹慎を命じられる。明治天皇の即位を機に兩親王への処分は解かれ、熾仁親王は新政府トツプの総裁となったが、父宮の熾仁親王は表舞台復帰を避け続けた。

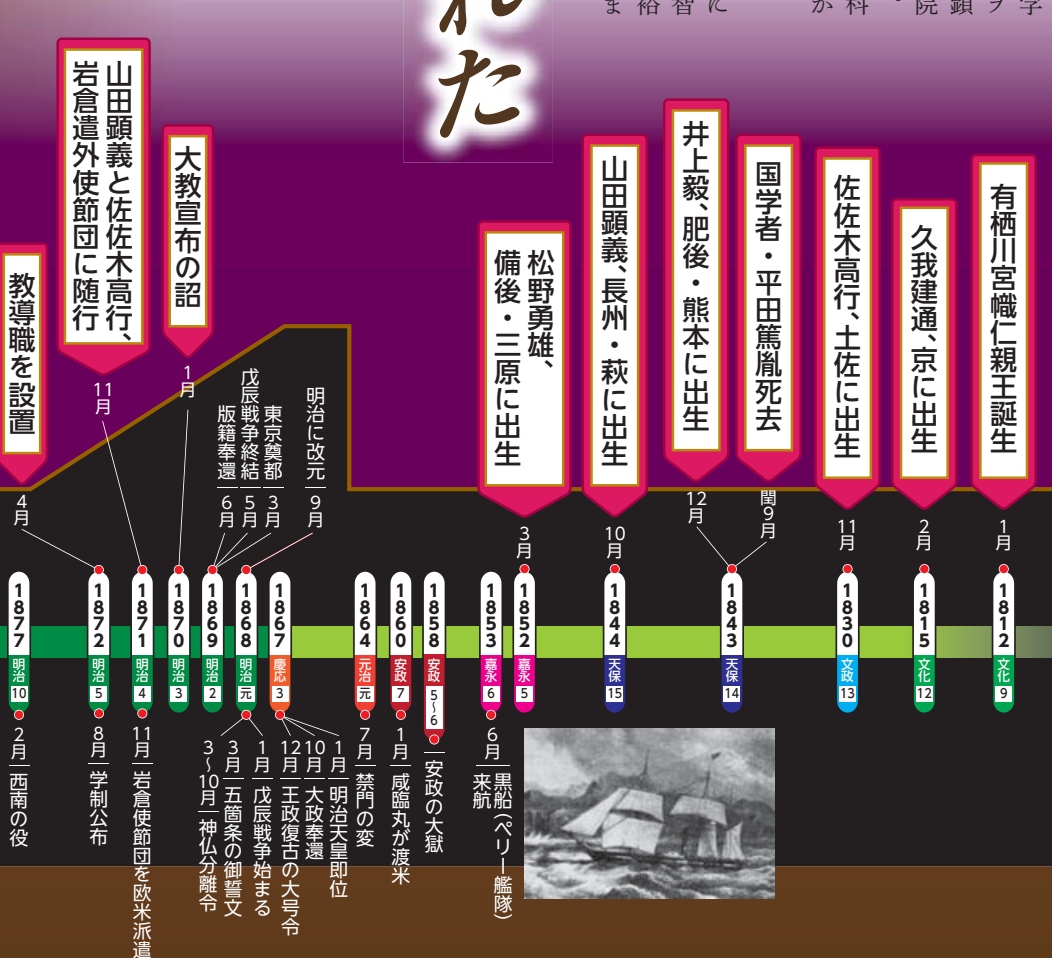
熾仁親王が皇典講究所初代総裁に就いたのは、新政府において神道を取り仕切る神祇事務局総督や神道教導職総裁として尽力し神道界と所縁が深かったことによる。これらの経緯からは、熾仁親王に対する明治天皇の信頼感がうかがえる。

皇典講究所開校式において熾仁親王より賜った告諭の精神は、今日においても本学の建学の精神（神道精神）の基礎をなしている。



国学院大学 黎明期の歩み

幕末・維新の歴史



標

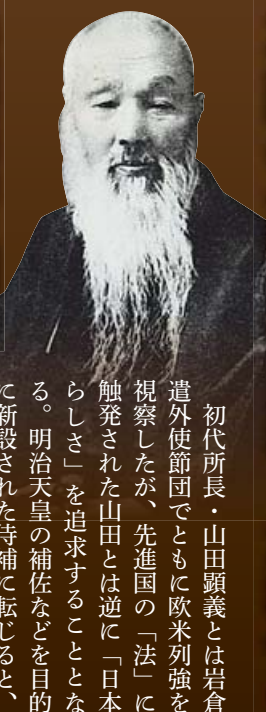
700年続いた武家政権から天皇親政へ：幕末・維新は未曾有の変革の波となつて日本を揺さぶる。文明開化は急激な近代化・西洋化を招き、やがて「日本らしさ」を求める声が高まる。その際よりどころとなつたのが、「神道」であり「国学」だった。こうした新たな時代の神道・国学における「次代の標」となる人材を育成するため、明治15年に創設したのが皇典講究所である。

初代総裁の有栖川宮熾仁親王をはじめ本学創立に関わった人物の多くは、未曾有の混乱を生き抜いて「明治」を迎えた。動乱期に心に刻んだ「慮い」が本学の源流となっている。

今回の特集は、本学の校史研究に携わってきた神道文化学部・齊藤智朗教授と研究開発推進機構の高野裕基助教の協力・監修を仰いでいます。

存続の危機を回避した救世主

皇典講究所第2代所長 佐佐木 高行



幕末の志士・坂本龍馬と意を通じ、土佐藩主・山内豊信（容堂）の側近としても活躍。尊王攘夷派とつながりを深めた佐佐木高行は龍馬が起こした「海援隊」支援にも関わり、長崎奉行所占拠などの奮戦記も伝わる。

初代所長・山田顕義とは岩倉遣外使節団とともに欧米列強を視察したが、先進国の「法」に触発された山田とは逆に「日本らしさ」を追求することとなる。明治天皇の補佐などを目的に新設された侍補に転じると、天皇親政を目指し、その後も天皇の側近として奉仕し続けた。

佐佐木が国学院と関わるのは、山田の急死や財政難で存続の危機に直面した際に「救世主」として迎えられてから。活を入れられた国学院は著しいV字回復を遂げ、これにより大正期には当時の飯田町校舎が手狭となつて、渋谷校舎への移転が実現することとなった。

明治国家のグランドデザイナー

井上 毅



「I」と称される井上毅。彼の遺文書群である「梧陰文庫」は、明治日本の近代化・西歐化を読み解くために不可欠な資料群であり、本学図書館に所蔵されている。

井上は肥後・熊本の生まれ。明治政府に出仕し、維新の元勳・大久保利通に見出され、岩倉具視や伊藤博文らの右腕として参事院議員、内閣法制局長官などの要職を遍歴。法制官僚として活躍した。新政府を牛耳つた「薩長土肥」の藩閥外から、その実力ゆえに官僚のトップに昇

7月23日まで 博物館で記念展示



国学院大学創立135周年記念展示「有栖川宮家旧蔵資料と国学院大学の歴史」は、7月23日まで渋谷キャンパスの国学院大学博物館校史展示室で開催中。本学創立に深く関わった有栖川宮家と本学のつながりを紹介しつつ、135年の歴史を振り返る貴重な資料が展示されている。入館無料。開館時間は10時～18時（入館は17時30分まで）。

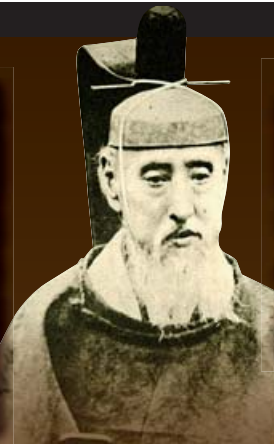
「法」にこだわった 小ナポレオン



皇典講究所初代所長 山田 顕義

薩摩の西郷隆盛から「用兵の天才」と、長州の高杉晋作から「後継者は大村益次郎。その次は山田」と評され、両巨頭に認められた軍事の天才。皇典講究所の初代所長に就任した山田顕義の前半生は、長州藩士として動乱期に身を投じた「軍人」であった。吉田松陰と大村の下に学んだ山田は戊辰戦争で軍功を立て、「国軍」創設にも尽力した。山田が法典編纂作業に力を注いでいくきっかけは、維新後に岩倉遣外使節団の一員としての当たりにした先進国の姿だった。当時の日本で急務とされていたのは、近代化によって列強と肩を並べ、幕末に結ばれた不平等条約改正を優位に進めることだった。山田は、日本の進むべき道は欧米並みの「法治国家」にほかならないと考え、独自にフランス法を研究。その姿は「小ナポレオン」と呼ばれてもいる。内閣発足に際しては初代司法大臣に就任し、現在へと続く各種法典の基礎を築くことになる。

黎明期に 奉仕した 名門の公家



皇典講究所初代副総裁 久我 建通

典講究所・国学院を支え続けた。平安から明治に至る公家文書を集めた「久我家文書」は我が国を代表する公家文書として知られる。その貴重な資料群は、本学との縁により寄託（後に寄贈）され、昭和63年6月6日に文書の大部分に当たる2461点が国の重要文化財に指定された。



有栖川宮幟仁親王、初代皇典講究所総裁に就任

皇典講究所の校地を東京市麹町区飯田町（現千代田区飯田橋）に定める

皇典講究所設立認可

皇典講究所開校式

山田顕義、初代司法大臣に就任

有栖川宮幟仁親王薨去

皇典講究所、第1回卒業式

皇典講究所同窓生の会「水穂会」発足（院友会の創始）

山田顕義、皇典講究所初代所長に就任

「國學院設立趣意書」公示

高崎正風、国学院初代院長に就任

国学院開院式

山田顕義死去

井上毅、文相に就任

国学院第1回卒業式

松野英雄死去

第1期卒業生により「院友会」設立

井上毅死去

佐佐木高行、皇典講究所・国学院長に就任

皇典講究所、財団法人認可

久我建通死去

国学院、専門学校令による認可

私立国学院大学と改称

佐佐木高行死去

1879 明治 12 9 月 学制に代わり教育令制定

1881 明治 14 10 月 国会開設の勅諭

1882 明治 15

1883 明治 16

1886 明治 19 3、4 月 学校令制定

1885 明治 18 12 月 内閣制度創始

1887 明治 20

1889 明治 22 2 月 大日本帝国憲法発布

1889 明治 22

1890 明治 23 10 月 教育勅語

1892 明治 25

1893 明治 26

1894 明治 27

1895 明治 28

1896 明治 29

1898 明治 31

1903 明治 36

1904 明治 37 2 月 日清戦争

1910 明治 43

1912 明治 45 7 月 明治天皇崩御、大正天皇即位

進むべき道を示した実務の長



皇典講究所幹事 松野 英雄

り詰めた人物だ。皇典講究所において、井上は山田顕義とともに立憲政治や国民教育の基礎は国典講究にあると演説し、その意義を強調。「國學院設立趣意書」修正にも関わるなど、国学院の設立に重要な役割を担った。

没後門人である父の影響もあって自らも平田派国学の門へ。明治前期に教導職となり、神道事務局生徒寮や神宮教院本教館といった神職養成機関の設立に尽力した。国学院では日本道義（道徳）の教鞭も執った松野。体調悪化を押して臨席した国学院の第1回卒業式の1カ月後にこの世を去った没後三十年祭を期して、皇典講究所長名によって贈位が申請され、従五位に叙せられた。自ら想を練った「國學院設立趣意書」では、国史・国文・国法を中心に、海外のさまざまな学問もあわせて学ぶことの重要性を説き、本学の進むべき道を示した。

博物館 No.3 学芸員の資料ファイル

今月の資料 祇園祭礼図屏風

時代：江戸時代

八坂神社の祇園祭は、京都の夏の風物詩です。山鉾巡行（現在は毎年7月17日、24日）が行われた日の夕方、同社の神々が神輿に乗って御旅所へ向かう神幸祭（17日）と、神社へと帰る還幸祭（24日）が行われます。本屏風は、還幸祭の様子を描き、左隻に3基の神輿、駒形稚児、母衣武者、右隻に鴨川を渡った行列の先頭と八坂神社（祇園社）の様子を描いています。



展示案内：本資料の左隻は、博物館神道展示室で7月1日（土）～8月12日（土）までご覧いただけます。

ウェブサイト案内：http://museum.kokugakuin.ac.jp/

【萬葉集『卷十一』を読む】
▶正述心緒(柿本人麻呂歌集歌)を読む
(文学部兼任講師・多田元) = A・B
■7月19日(水)
▶相聞往来と恋歌の道(教育開発推進
機構助教・鈴木道代) = A、恋歌と物
語(文学部准教授・谷口雅博) = B
■7月20日(木)
▶都市の生活と歌一卷十一の世界①
(文学部准教授・土佐秀里) = A、占い
とまじない・迷信一卷十一の世界②
(文学部准教授・土佐秀里) = B
■7月21日(金)
▶巻十一の旋頭歌について(東京大学
名誉教授、二松学舎大学特別招聘教
授・多田一臣) = A、問答歌を読む
(東洋大学教授・菊地義裕) = B
■7月22日(土)
▶古今と相聞と一にひむろほがひ(奈
良大学教授・上野誠) = A、民の歌

一母・娘・ますらを(奈良大学教
授・上野誠) = B
■7月23日(日)
■各時間は、A = 9 時30分～10時50
分、B = 11時5 分～12時25分
【源氏物語『鈴虫』巻を読む】
▶講読 1 女三の宮、持仏開眼の供養
を催す(文学部教授・小田勝) = A・B
■7月19日(水)
▶「紙屋の人」を召す光源氏(フェリ
ス女学院大学教授・竹内正彦) =
A、源氏物語の扇(国学院大学栃木
短期大学教授・林田孝和) = B
■7月20日(木)
▶講読 2 鈴虫の宴にて夜を明かす
(文学部教授・豊島秀範) = A・B
■7月21日(金)
▶松虫・鈴虫の鳴く庭(文学部兼任講
師・飯沼清子) = A、苦しみの炎
(国学院大学栃木短期大学准教授・

津島昭宏) = B
■7月22日(土)
▶講読 3 光源氏、冷泉院へ参上する
(本学副学長・文学部教授・針本正
行) = A・B
■7月23日(日)
■各時間は、A = 13時10分～14時30
分、B = 14時45分～16時5 分

平成29年度
伝統文化に学ぶ講座(東京)

■華道関係者の教養を高める目的で
「華道学術講座」として始まり、古
典文学・民俗学などの伝統文化に関
する内容に拡大したのに伴い「伝統
文化に学ぶ講座」に改め、多くの方
に受講していただいています。
■7月30日(日)
■渋谷キャンパス学術メディアセンタ
ー1 階・常磐松ホール

■3000円
■先着順(定員300人)
■エクステンションセンター
(☎03・5466・0270)
▶1 講目
華道からたどる日本の心 今だか
ら見直したい「捧げる花」「活ける
心」(洗心流五世家元・鳥居茜月)
■10時30分～12時
▶2 講目
日本美術の百花繚乱—浮世絵に描か
れた文字と花々—(文学部教授・藤
澤紫)
■12時50分～14時20分
▶3 講目
『平家物語』の女武者—最後のいく
さに込めた巴御前の想い—(文学部
教授・野中哲照)
■14時35分～16時5 分

キャリアサポート

進路電話調査

■進路・就職に関する「現状」を把握
することを目的とした電話調査を実
施します。調査結果は、支援内容・
企画の充実につなげますので、電話
には極力出ていただくよう、ご協力
をお願いします。※「決定・内定状
況」の確認ではないため、希望進路
(一般企業・公務員・教職・神社関
係・進学)は問いません。
■・■7月10日(月)～21日(金)
■4 年生
■キャリアサポート課
(☎03・5466・0151)

インターンシップ参加希望者必須
～マナー研修

■就活の必須条件となるビジネスマナ
ーの重要性、敬語や電話対応、会社
訪問・面接時の動作などを解説・実
践します。
■・■7月3日(月)6 限、4 日(火)6 限、
5 日(水)の3 限または5 限

■渋谷キャンパス
■1～3 年生 ※単位申請者はいずれ
か参加必須

インターンシップ参加希望者必須
～夏季インターンシップ事前研修

■インターンシップ参加に向けた目標
設定を行います。
■・■7月5日(水)4 限
■渋谷キャンパス
■1～3 年生 ※単位申請者は参加
必須

インターンシップマッチング面談
～講座&マッチング

■面談を通して、チャレンジしやすく
希望に合ったインターンシップ先を
紹介し、インターンシップ実施中・
実施後も手厚くサポートします。
■・■7月12日(水)4・5 限
■渋谷キャンパス
■1・2 年生(3 年生も可) ※マッ
チングを希望の場合は事前研修に参加
していることが条件となります。

独学者向け
公務員試験対策講座⑦～行政法

■独学で試験勉強を行う学生に対し
て、勉強をする際の効率的な方法や、
スケジュールの立て方、重要科目の
ポイントを解説する講座です。筆記
試験だけでなく、近年重要度が高ま
っている面接試験に向けて、今から
できる対策方法をお伝えします。
■・■7月12日(水)4 限
■2303教室
■公務員志望の2～4 年生

公務員志望者専用個別面談

■個別面談を行い、試験に対する情報
提供や実力強化を行います。本番を
想定した1 対 1 の面接指導から自治
体研究・受験先団体に関するること
など、何でも相談に乗ります。この機
会に公務員試験に関する不安・疑問
点を解消しましょう。
■7月14日(金)・17日(月・祝)・21日(金)
■キャリアサポート課内面接室
■4 年(空枠を下級生に開放)
■事前にキャリアサポート課の窓口ま

たは電話(☎03・5466・0151)で

公務員試験 演習会(無料模試)②
～憲法・民法・行政法

■单元ごとの演習(模試)を通じて、
日頃の学習成果の確認や、公務員試
験で出題される問題内容を理解し、
今後の試験対策に活かしましょう。
結果は、後日キャリアサポート課窓
口でお返しいたします。
■・■7月19日(水)5 限
■2303教室
■2～4 年生

夏季休暇活用ガイダンス

■公務員を目指す人にとって、夏休み
をどう過ごすかが、大きな分かれ
道。筆記試験対策はもちろん、課外
活動の充実も大事なポイントです。
夏季休暇期間に、大きく成長するた
めのヒントをお教えます。
■・■7月19日(水)4 限
■2303教室
■2～3 年生
※詳細確認・申し込みは K - S M A P Y
のキャリアサポートシステムから

本紙へのご感想を
お待ちしております

「国学院大学学報」では、読者の皆さまから
のご意見・ご感想を募集しています。今後、定
期的に本紙にて「読者の声」を紹介していく予
定です。掲載された方には、本学オリジナルグ
ッツを進呈いたします。ご投稿は以下の要領で
お願いします。
①今号の満足度5 段階(低1～5 高) ②本紙へ
のご意見 ③住所 ④氏名 ⑤所属など(在学生の
場合〈学科・学年〉、保護者、院友〈本学卒業
生〉、本学・本法人教職員、その他いずれか)
を明記の上、はがき・F A X で国学院大学広報
課(連絡先は1 面参照)までお送りください。
また、Q R コードより E メール作成画面を開く
ことができます。なお、お送りいただいた方の
個人情報(法令に基づいて取り扱いいたしま
す。

※お寄せになられた原
稿・お便りは返却い
たしません



夢中になって遊んでい
るうちに、科学や最先端
の技術を学べるのが科学
館の魅力である。2 年ほ
ど前に子どもを連れて都
内の科学館を訪れた際、
私は童心にかえって数々
の驚きと感動の体験をし
た。実験や体験を通して
「不思議だな、何でだろ
う?」という素朴な疑問
や好奇心が学びへの意識
を高めることをあらため
て認識した。

本学で経営学教育を担
当する私は、このような
「体験」や「発見」を通
して、学生に企業経営や
マーケティングを学ぶ楽
しさを感じながら本質を
理解してほしいという思
いで、産業界や社会とつ
ながりのある授業の運営
に携わっている。その一
つに、企業や団体が抱え
る実践的な課題に対し
て、チームの仲間と協力
して解決策を検討する授
業がある。一方的に知識

と課題が明確化されると
いう教育効果が表れてい
る。
また、経済学部では企
業経営に携わる方々を講
師に迎える授業を開講し
ており、私は本年度授業
のコーディネートをして
いる。毎週、さまざまな
業界から講師を招き、現
場の体験談から経営やビ
ジネスの実態を学ぶと
もに、一人のプロフェッ
ショナルとしての生き方
を知ることで、自身のキ
ャリア形成につながる発
見を促す授業づくりを目
指している。



若木が丘
だより

経済学部准教授
宮下 雄治

驚きや感動の学びを
デザイン

大学からの
お知らせ

高校生向けコンテスト作品募集



■国学院大学と高校生新聞社では、第21回全国高校生創作コンテストならびに第13回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト(いずれも国学院大学若木有成会、国学院大学院友会、国学院大学北海道短期大学部協賛)の作品を次の要領で募集します。

【応募期間】 7月3日(月)～9月11日(月)
※当日消印有効

【応募条件】
▶高校生であること
▶自作未発表のもの

【応募方法】
《個人》郵便番号・住所・氏名・学年・性別・電話番号・高校名・担当教諭名を記入し、応募の動機、コンテストをどこで知ったかを書き添えてください。

《学校》高校名・郵便番号・所在地・担当教諭名・電話番号・応募者氏名・学年・性別を作品ごとに記入し、応募の動機も書き添えてください。

【応募先】 郵送で、〒194-0022東京都町田市森野1-34-10高校生新聞社コンテスト事務局①「第21回全国高校生創作コンテスト係」②「第13回『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト係」、またはメールで。
([✉contest2017@scipa.jp](mailto:contest2017@scipa.jp))

【発表】11月中旬に入賞者に通知、主催者ホームページにおいても公表します。

■高校生新聞社コンテスト事務局
(☎042・724・2750)
(FAX042・724・2710)

※お知らせいただいた氏名・住所その他の個人情報は、主催者において、本コンテストの審査、本人および所属高校への連絡、本コンテスト資料の発送に利用いたします。なお、個人情報を第三者に提供することはありません。応募作品は、当主催者に著作権を帰属し、返却いたしません。

①全国高校生創作コンテスト
【部門】
▶短篇小説の部(1人3篇以内＝1篇4000字以内)
▶現代詩の部(1人3篇以内＝1篇45行以内)

▶短歌の部(1人3首以内)
▶俳句の部(1人3句以内)
※各部門とも専用の応募用紙、またはA4サイズの用紙で提出。封筒には必ず「〇〇部門作品在中」と記入してください。

【表彰】最優秀賞(各部門1人、賞状・副賞5万円・記念品)、優秀賞(各部門2人、賞状・副賞3万円・記念品)、佳作(各部門5人、賞状・副賞1万円相当の図書カード・記念品)、文部科学大臣賞(1校、賞状・副賞5万円相当の図書カード・記念品)

②「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト
【部門】
▶地域文化研究部門(祭り・伝統行事・郷土料理・方言などの調査研究＝個人・団体)
▶地域民話研究部門(昔話・伝説など民話の調査研究＝個人・団体)
▶学校活動部門(学校や部、クラスなどの活動として地域研究活動の実践報告)

※レポート枚数自由(ただしA4サイズの用紙を使用)、映像の場合は15分以内で提出。地域文化・地域民話の両部門は封筒に「〇〇部門個人または団体応募作品在中」と記入してください

【表彰】
▶地域文化研究部門・地域民話研究部門：最優秀賞(個人・団体それぞれ1作品、賞状・副賞5万円・記念品)、優秀賞(個人・団体それぞれ2作品、賞状・副賞3万円・記念品)、佳作(個人・団体それぞれ2作品、賞状・副賞1万円相当の図書カード・記念品)
▶学校活動部門：優秀賞2校(賞状・副賞3万円相当の図書カード・記念品)
▶折口信夫賞：1作品(賞状・研究費5万円・記念品)

図書館 日曜開館します！

■レポート作成期、前期試験期に伴い、7月の下記日曜日、両図書館を開館します。ぜひご利用ください。

■・■・■
▶渋谷キャンパス：7月2日・9日・16日・23日・30日、10時～18時
▶たまプラーザキャンパス：7月2日・9日、9時～16時30分
※16日・23日・30日は休館
なお、17日(祝)は授業実施日のため両図書館とも平常通りの開館です。

■在学生
■図書館事務課
(☎03・5466・0159)

大学院 平成30年度秋季入試

■国学院大学大学院では、上表の日程

大学院 平成30年度秋季入試日程								
研究科	区 分	専 攻	募集人員	出願受付期間	試験日・合格発表日	入学手続期間		
文学	前期	一 般	神道学・宗教学	10人	9月14日(木) ～22日(金)	【試験日】 10月7日(土) 【合格発表】 10月10日(火)	【1次手続】 10月16日(月)～23日(月) 【2次手続】 平成30年2月21日(水) ～27日(火)	
			文 学	15人				
			史 学	20人				
		留学生	神道学・宗教学	若干名				【試験日】 10月11日(水) 【合格発表】 10月13日(金)
			文 学					
			史 学					
	学内成績選考	神道学・宗教学						
		文 学						
		史 学						
	後期	社会人	神道学・宗教学			若干名		【試験日】 10月11日(水) 【合格発表】 10月13日(金)
			文 学					
			史 学					
一 般		神道学・宗教学						
		文 学						
		史 学						
後期	留学生	神道学・宗教学	若干名	【試験日】 10月11日(水) 【合格発表】 10月13日(金)				
		文 学						
		史 学						
	社会人	神道学・宗教学						
		文 学						
		史 学						
法学	前期	一 般		法律学	5人	9月1日(金) ～14日(木)	【試験日】 9月30日(土) 【合格発表】 10月3日(火)	【1次手続】 10月6日(金)～13日(金) 【2次手続】 平成30年2月21日(水) ～27日(火)
		留学生			若干名			
		学内成績選考※						
		社会人						
経済学	前期	一 般		経済学	5人	9月1日(金) ～14日(木)	【試験日】 9月30日(土) 【合格発表】 10月3日(火)	【1次手続】 10月6日(金)～13日(金) 【2次手続】 平成30年2月21日(水) ～27日(火)
		留学生			若干名			
		社会人						
		学内推薦						

※法学研究科(前期課程)学内成績選考の秋季募集は4年次在学者に限る

で平成30年度の秋季入試を実施します。文学研究科は、本年度から学部4年生を対象に、GPAによる成績選考を導入します。選考方法は、書類審査と口述試験のみとなります。対象学部と出願資格については、各専攻で異なります。詳しくはお問い合わせください。

■大学院事務課
(☎03・5466・0142)

平成30年度 推薦入試・特別選考入試

■国学院大学では、下表の日程で平成30年度の推薦入試・特別選考入試を実施します。

■入学課 (☎03・5466・0141)

イベント 30

ライブ&トーク「越境するうた」



松田美緒さん 山口亮志さん 小泉凡さん

■国学院大学文学部外国語文化学科《多言語・多文化の交流と共生》プロジェクトの一環として開催。スペイン語・ポルトガル語圏で人々の生活に分け入りながら活動続ける歌手の松田美緒さんが、ギター&ブザーキ(ギリシャ音楽などで用いる楽器)奏者の山口亮志さんとともに最新アルバム「エーラ」収録曲を披露します。トークゲストは小泉八雲記念館館長の小泉凡さんです。司会は外国語文化学科の笠間直穂子准教授。

■7月4日(火)
■18時開場、18時30分開演(20時30分終演予定)
■渋谷キャンパス学術メディアセンター1階・常磐松ホール
■無料
■不要
■国学院大学文学部・笠間研究室
(☎03・5466・6270)

平成29年度 国学院大学公開
古典講座(萬葉集・源氏物語)

■昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継いだ伝統ある講座を今年度も開催します。本学が最も得意とする古典文学作品の中から「萬葉集」と「源氏物語」にテーマを絞った短期集中型(夏期の5日間)の講座です。

■渋谷キャンパス学術メディアセンター1階・常磐松ホール
■各講座1日2000円、4日以上8000円(オープンカレッジ会員は4日以上受講5000円)

■7月7日(金)(必着)までに、本学HPのイベント紹介ページ(<https://www.kokugakuin.ac.jp/general/eventlist/p2>)から公開講座リーフレットを請求し、受講申請書に必要事項を記入して、FAX(03・5466・0528)または郵送(〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28国学院大学エクステンションセンター)でお申し込みください。

※各講座とも先着300人。定員を超えた場合は補助テーブル付きの椅子を利用する場合があります。

■エクステンションセンター
(☎03・5466・0270)

平成30年度 推薦入試・特別選考入試日程						
入試制度	学 部	募集人員	出願期間(最終日消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続期間(最終日消印有効)
神道・宗教特別選考【I期】	神道文化	47人	8月30日(木)～ 9月6日(木)	【1次選考】書類選考 【2次選考】9月24日(日)	9月15日(金) 9月30日(土) 9月30日(土)	【1次手続】10月2日(月)～10日(火) 【2次手続】11月24日(金)～12月1日(金)
神職養成機関(普通課程)特別選考	神道文化(フレックスA)	2人		9月24日(日)	9月30日(土)	
院友子弟等特別選考	全学部※	41人	【1次出願】8月30日(木)～9月6日(木) 【2次出願】10月10日(木)～16日(月)	【1次選考】書類選考 【2次選考】11月12日(日)	9月20日(木) 11月22日(木)	11月24日(金)～12月 1日(金)
公募制自己推薦(AO型)	経済(K-ENT方式)	42人	8月30日(木)～ 9月6日(木)	9月24日(日)	9月30日(土)	【1次手続】10月2日(月)～10日(火) 【2次手続】11月24日(金)～12月1日(金)
	文(中国文は社会人含む)	59人	9月27日(木)～10月4日(木)	【1次選考】書類選考 【2次選考】11月12日(日)	10月20日(金) 11月22日(木)	11月24日(金)～12月1日(金)
	神道文化	12人				
	法(社会人含む)※	26人				
	人間開発	40人				

※法学部法律学科法律専門職専攻を除く

学生記者が
行く！

人気急上昇中！

五輪新種目を体験！

渋谷で

2020年東京五輪の正式種目として新たに採用されたスポーツクライミング競技。五輪では3種目からなる複合競技として行われる。その中の1つ、「ボルダリング」が誰でも楽しめるスポーツとして人気を集めている。今回は、渋谷駅近くのスタジオで学生記者がチャレンジした。

ボルダリングとは

スポーツクライミング競技で唯一ロープを使わず、自分の手足のみで高さ5mほどの岩に登る競技。手足を置くホールド(壁の突起)の位置は決められている。力だけで登っているように見えるものの、決められたコースをどのようにして登るかを考える必要があり、「体を使ったチェス」の異名も。

1

まずはシューズ選び。次に、滑り止めの液体チョークを手に塗ってよく乾かす。入念に柔軟体操をして準備は完了だ。

ここがPOINT!

シューズは親指が曲がるくらいの、少し窮屈なものがオススメ



2

今回は一番易しいコースとされる3メートルほどの初心者用の壁に挑戦。初めはスムーズに登れたものの、途中で手や足を置く位置が分からなくなり、「体を使ったチェス」を実感する。考えているうちに、ホールドを掴む腕が痛くなり、何度かリタイア。

ここがPOINT!

腕に負荷がかからないよう、腰を落とし足に体重をかけましょう

3

手足の位置を考えつつ、上を目指してひたすら登る。腕が痛くなると、アドバイスを思い出し、腰を落とす。これを繰り返し、遂に「G(ゴール)」のホールドを掴むことができた。

ここがPOINT!

降りるときは1メートルほどまでゆっくり降り、下に敷かれたマットに飛び降りましょう



ボルダリングスタジオ
PEKI PEKI
渋谷明治通り本店 店長
牧野 大吾さん

恐る恐る挑戦したが、慣れると楽しくなり、“登頂”の達成感は格別。体をしっかりほぐしてから登ることで、怪我の心配もなく安全に楽しむことができる。スタジオは都内を中心に増えており、老若男女を問わずボルダリングを楽しむ人も増えているという。まずはスタジオに足を運んでみてはいかがだろうか。

〈取材〉尾澤・山本

今回教えて
くださったのは…

ボルダリングに必要なものは、クライミングシューズと専用のチョークの2つだけ。ほとんどのスタジオでは貸し出し用を用意していますので、学校帰りや仕事帰りに気軽に立ち寄ってみてください。

若木体育祭
年に1度の学生同士の対決

5月14日、たまプラーザキャンパスで第56回若木体育祭が開催された。若木体育祭実行委員会が企画した9競技が5会場に分かれて行われた。学生はクラスや部会・サークルの仲間同士で参加。二人三脚リレー、フットサル、バスケットボールなどで白熱した戦いが繰り広げられた。



団体個人の成績

剣道部 = 5月14日に日本武道館で第63回関東学生剣道選手権大会行われた。同部からは8人が出場し、田上敬之君(神文4)が4回戦進出、藤野聖那君(健体2)が5位入賞を果たし、第65回全日本学生剣道選手権大会への出場権を獲得。また、20日に東京武道館で行われた第49回関東女子学生剣道選手権大会には、13人が出場。5回戦敗退の表ちさとさん(健体4)、ベスト16に入賞した杉本唯子さん(初等2)が第51回全日本女子学生剣道選手権大会への出場枠を獲得した。

卓球部 = 5月19日から21日まで所沢市民体育館で行われた平成29年度春季関東学生卓球リーグ戦で、本学男子が2部で2位の結果を残し、6月10日(土)に1部の法政大学と入替戦に挑む。女子は1部で8位となり、2部降格が決まった。

ソフトテニス部 = 5月21日に東京経済大学武蔵村山キャンパステニスコートで、平成29年度関東学生ソフトテニス春季リーグ男子1部・2部入替戦が行われた。リーグ戦1部6位の男子は、2部優勝の東京経済大学と対戦。3-1で勝利し、1部残留が決定した。4部優勝の女子は、3部6位の神奈川大学と対戦し、2-0で勝利し、3部昇格を果たした。

強化部会主なスケジュール(7月)

柔道部 = 平成29年度東京都ジュニア柔道体重別選手権大会 個人戦(7/9(日)9:00~・東京武道館)

剣道部 = 第51回全日本女子学生剣道選手権大会(7/22(土)・エディオンアリーナ大阪)、第65回全日本学生剣道選手権大会(7/23(日)・同)

学生記者のツボ

テーマ 雨の日の楽しみは？

じめじめとして気分まで憂鬱になりがちな梅雨の時期。雨の日でも小さな楽しみを見つけて過ごしたいものです。



水色のお気に入りの柄の傘を差して出歩く

石原 礼奈
(日文1)



歩きやすくおしゃれなレインシューズを履く

尾澤 桃子
(法3)



窓に映る雨のしずくを眺めること

後藤 哲治
(日文2)



家で時間を忘れて読書をする

鈴木 亜美
(日文1)



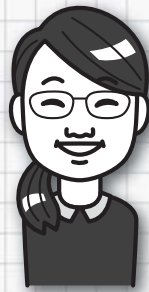
講義中に、先生が話してくださる雨についての小話

塚本 咲実利
(日文2)



雨の音に耳を澄ませてリラックスすること

豊田 亜佑
(哲1)



雨に濡れて色鮮やかになった植物に癒される

永井 伶奈
(日文4)



次の晴れの日のことを考えて気分が上がる

本間 由
(日文3)



小説のまねをして、真っ暗な部屋で窓を開けて聞く雨音

宮田 愛萌
(日文1)



雨が降った時の鉄さびのような乾いた匂いと静けさ

毛利 将史
(史2)



湿気で髪の毛にパーマがかかりやすくなる

柳下 桂一郎
(史3)



透明な水たまりに水が跳ねないようにそっと入ること

山本 莉紗子
(外文2)



柔道部 東京学生柔道優勝大会 接戦の末ベスト16

5月28日午前9時から、日本武道館(千代田区)で東京学生柔道優勝大会(東京学生柔道連盟主催)が開催され、本学柔道部は2回戦から出場した。

この大会は7人による団体戦。同部は、初戦の一橋大学戦を7-0で制し、好スタートを切った。続く3回戦は昨年準優勝の明治大学との対戦。三将には、4月にジュニアの国際大会男子73kg級で優勝した島田隆志郎君(健体2)が、

100kg超級の小川雄勢選手に挑んだ=写真=。シニアの国際大会出場の実績もある相手に島田君は、足技などで果敢に攻め込むも引き分け。7試合中6試合が引き分けの大接戦も一歩及ばず、0-1で本学は敗れ、ベスト16に留まった。

この結果、同部は6月24日(土)・25日(日)に行われる全日本学生柔道優勝大会への出場権を獲得した。

錦織圭選手が世界のトップクラスで戦うようになってから、テニスは国内の注目が集まってきた。そのテニスに、野球と同様の「軟式」があるのはご存じだろうか。ソフトテニスとも呼ばれ、硬式テニスに比べて軟らかいゴムボールを使う。硬式と異なり、ダブルスで勝負を競うのが主流だ。

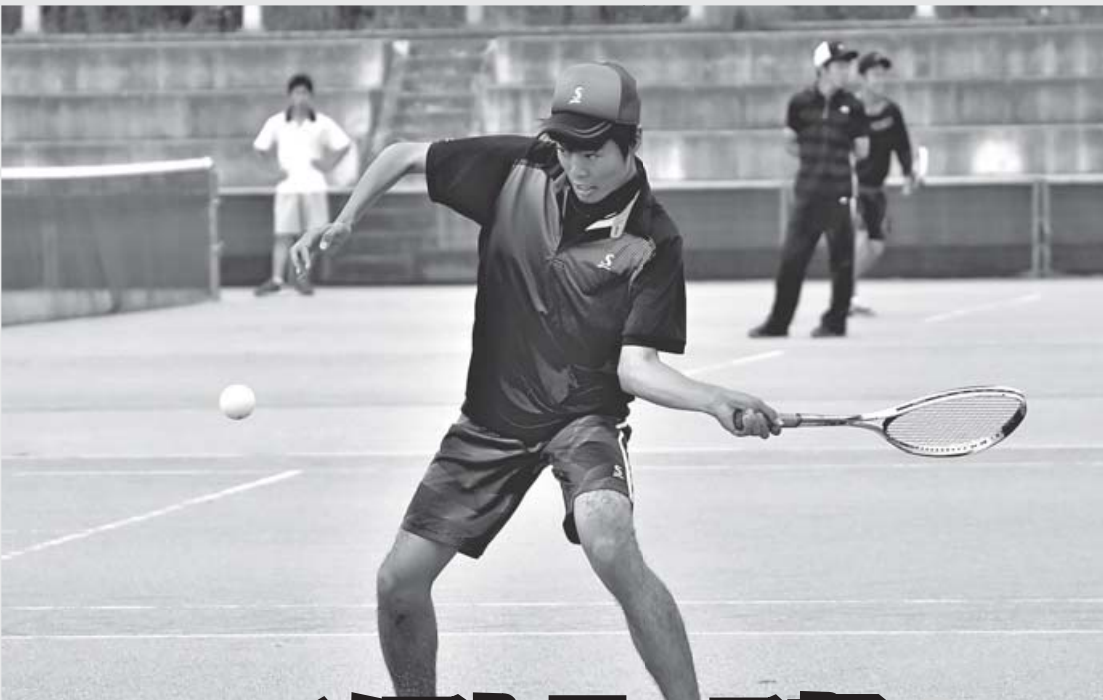
本学のソフトテニス部は、大学トップクラスのレベルで戦い続けている。平成27年度に関東学生リーグ1部(6チームで構成)に昇格すると、4期連続で1部に所属し奮戦している。

主将を務める井上太晴君(健体3)は、1年生の時からリーグ戦で戦い続けている。伸びやかなフォームから生まれる力強いストロークを武器に、エースとしてチームを支えてきた。「1部に昇格したときの先輩たちの背中には、今でも強く印象に残っています」と井上君は話す。部の歴史を変えた偉大な先輩の姿は、今も井上君が高みを目指す原動力になっている。

しかし、今年5月に行われた春季リーグでチームは最下位となり、入れ替え戦で負ければ2部へ降格という瀬戸際まで追い詰められた。苦しみながらも1部残留は成し遂げたが、この結果を受けて「1部昇格を決めた先輩たちに『憧れる』だけ



井上主将



1部入賞へソフトテニス部が歴史を変える!

じゃダメということを痛感しました。先輩たちを『超える』という意識で、1部残留ではなく1部入賞を目指します」と井上君は力強く語った。

主将になった井上君は練習を改革した。同じ練習を繰り返してきたこれまでのスタイルに加え、

1球に対する緊張感や集中力を高めることを常に部員の中に徹底している。秋に行われるリーグ戦では3位以内を目指す。覚悟を決めた井上君の瞳に迷いはない。「超える」ことを目標にした本学ソフトテニス部から目が離せない。〈取材〉後藤

オトナの銘 誰かがこれをやらねばならぬ(「宇宙戦艦ヤマト」主題歌より)

森川且滋さん(観世能楽堂・興行部、平20卒・116期経)

学問の師や人生の先輩たちが目指す理想の姿とは。彼らの人生を支える言葉とともに、目標とする大人としてあるべき姿を取材する。今月は4月にオープンした商業施設「GINZA SIX」に移転した観世能楽堂の興行部に勤める森川且滋さんに学ぶ。

——「宇宙戦艦ヤマト」は43年前に放映された国民的SFアニメーションですが、世代ではありませんよね。森川さん(以下、森川) そうですね(笑)。高校時代、音楽の授業で聞いてから耳に残っています。大学時代の剣道部の仕事や、勤め先で業務を振られたとき「この仕事を誰かがやらなきゃ、部や職場が回らない」と。そうすると自分がやるしかないと思

い、仕事を引き受けています。常にこの言葉が私の中にありました。——学生時代、剣道部に所属されていたのですね。森川 はい。主務(マネージャー)を務めていました。一部員として練習に励む中、主将の補佐として、卒業生への連絡や雑務などの仕事をしなければなりません。「なんで僕がやらなきゃいけないんだ…」そう

思うこともありました。ですが、明治25年に創部された伝統のある部のためを思えば、苦しくてもこなすことができました。——社会に出ても、それは変わらずあり続けるのですね。森川 700年の伝統を誇る能楽の世界はとても奥深いです。23歳で出会ったこの業界の仕事に対しては柔軟な姿勢でいこうと思っています。



いろんな仕事を引き受けることで信頼関係も生まれるのかな、と考えています。剣道も能楽も好きな世界。つらいことがあっても、楽しいことを見つけ、のめり込んでいけるのだと思います。

——ありがとうございました。〈取材〉本間

K:DNA——創立135年目を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

●編集 総合企画部広報課/学生アドバイザーメディアチーム [永井伶奈(日文4)/尾澤桃子(法3)/本間由(日文3)/柳下桂一郎(史3)/後藤哲治(日文2)/塚本咲実利(日文2)/毛利将史(史2)/山本莉紗子(外文2)/石原礼奈(日文1)/鈴木亜美(日文1)/豊田亜佑(哲1)/宮田愛萌(日文1)]

硬式野球部

東都 終盤粘れず2位

——諸見里君、西丸君がベストナイン

東

都大学野球春季1部リーグ(4月4日～5月24日)は全日程を終了し、本学硬式野球部は7勝5敗1分、勝ち点3で、勝率で亜細亜大学、中央大学と並び2位に終わった。

5月9日、10日に行われた東洋大学との首位攻防戦に連敗し、自力優勝の可能性は消えた同部は、亜細亜大学との最終戦に春季リーグ初優勝の望みをかけた。

5月17日の1回戦は、山岡就也君(健体3)、宮内崇匡君(神文4)の両左腕の投手リレーで逃げ切り、2-1で勝利した。しかし、2回戦(19日)、3回戦(23日)に敗れ、東洋大学の12季ぶり17度目の優勝が決まった。

個人表彰では、ベストナインに、遊撃手で主将の諸見里匠君(経) = 写真 = が、指名打者で西丸泰史君(経ネ3)が初めて選ばれた。

東都大学野球春季リーグ結果

順位	大学名	勝数	負数	分数	勝率	勝点
1	東洋大	8	2	0	0.8	4
2	亜細亜大	7	5	0	0.583	3
2	国学院大	7	5	1	0.583	3
2	中央大	7	5	0	0.583	3
5	日本大	5	7	0	0.417	2
6	専修大	0	10	1	0	0

柔道部・藤阪君

ユニバーシアード競技大会日本代表選出

8月に台湾・台北で開催される第29回ユニバーシアード競技大会の柔道競技日本選手団の候補名簿を全日本柔道連盟が発表した。本学柔道部からは、男子60kg級に藤阪泰恒君(健体3)が選出された。今後日本オリンピック委員会の理事会で承認され正式に選手団の一員として認定される予定。

全日本柔道連盟の強化選手でもある藤阪君は、今年2月にイタリア・ローマで行われたヨーロッパオープン・ローマ大会60kg級でシニアの国際大会で初優勝を果たすなど実績を挙げている。藤阪君が出場する予定の柔道男子60kg級は大会4日目の8月23日(水)に行われる予定だ。



Campus Clip

挑戦を恐れないことを心に留めて

河 宗傑君(神文4)
1年生からインターンシップに参加していた河君。仕事に対する姿勢を学んできた。「若いうちにたくさん失敗をしろ」。その時のアドバイスは、就職活動でも彼の背中を押している。

〈取材〉毛利

満腹間違いなし！チキンカレー

溶岩焼ダイニングCampusのおすすめは「ごろごろチキンカレー」。その名のとおり大きめにカットされた鶏肉は柔らかく、食べ応えがある。あめ色になるまで炒めたたまねぎが辛さを和らげて、小さな子供でもおいしく食べられるだろう。平日ランチタイムは500円で提供されていて、ご飯の大盛りサービスも無料。学生のお財布とおなかに大満足の一皿だ。

〈取材〉山本



ごろごろチキンカレー
平日ランチタイム限定 ¥500 (税込価格)

ちょっと寄り道

溶岩焼ダイニングCampus



神奈川県横浜市青葉区新石川3-13-14
たまプラザキャンパスから徒歩3分
連絡先: 050-3477-3482
定休日: 無
営業時間: ランチ11:00～15:00(L.O.15:00)
ディナー15:00～23:00(L.O.22:00)